

大阪地下街ザ・ヒストリー



ナカノシマ大学2026年12月講座

気がつけば、ヘビーユーザーになっていました

人生に寄り添って70年



左上／1957年12月18日(水)に産声をあげたナンバ地下センター
右上／1963年11月29日(金)、1日で100万人が訪れたウメダ地下センター
左下／ウメダ地下の名所として長く愛され3代リニューアルされた泉の広場
右下／昨年リニューアルされたNAMBAnan'nan'n
©いずれも大阪地下街

12/16(水) 18:00~19:40

会場 **堂島ビルディング9階D会議室**(北区西天満2-6-8／大江橋北詰、御堂筋東側)

受講料 **2,500円** 定員 **70名**

講師 **浅香保ルイス龍太**(北区魅力発信フリーペーパー『つひまぶ』編集発行人)

主催 **ナカノシマ大学事務局(株式会社140B)** 協力 **大阪地下街株式会社**

「駅をつなぐ通路」以上の愛着が湧いてしまう理由の、一つひとつを解き明かす
「大阪地下街株式会社」が設立されたのは1956(昭和31)年6月13日(水)。翌年には「ナンバ地下センター(現・NAMBAnan'nan'n)」が、そして1963年には「ウメダ地下センター(現・ホワイティうめだ)」が誕生し、大阪人にとって物珍しかった地下街は、日常生活に溶け込んでいきました。その発展の仕方は、「世界の商都」にふさわしいユニークなものです。

講師は、梅田を拠点に「まちの歴史」を掘り起こす講座やまち歩きを主催する、上機嫌なコミュニティの案内人、浅香保ルイス龍太さん(初登壇)。1年の締めくくりにぜひお越しください!

〈講師からのメッセージ〉

待ち合わせも、寄り道も、恋も仕事も、僕らは地下街で歳を重ねてきました。

僕にとっての地元は63年の歴史を持つ「ウメ地下」。地下はいつでも晴れやで!のトンカツ[豚晴]、B2フロアのあった[カフェ英国屋]、画期的だったチャイの[カンテグランデ]、本気の迷宮「フコク地下街」、泉の広場の怪談「赤いワンピースの女」……などなどです。

70年史を振り返りながら、地下街という「第三の街」もホームにする大阪人にとって、毎日歩くこの街の唯一無二のおもしろさを皆さんと共有したいと思います。



浅香保ルイス龍太さん

あさかほるいす・りゅうた 1966年西宮生まれ、大阪育ち。取材・執筆・編集・デザインも行い広告も制作するクリエイター。北区魅力発信フリーペーパー『つひまぶ』編集発行人。世界107カ国を旅する。防犯を中心とした梅田のまちづくり「キタ歓楽街環境浄化推進協議会」広報担当、北区社会福祉協議会 記者ボランティア発行新聞「いきたくて」スーパーバイザー。扇町の「談話室マチソフ」で開催中の講座「仏像をめぐるぐるりのこと」「朗読 大阪奇談」の主催などの活動を通じて、大阪の魅力を発信し続ける。2026年3月に大阪市北区北野連合振興町会から発行された地域史誌「そうだったのか!? 北野の歴史」では全記事を執筆。大阪地下街(株)のHPでは70周年年表を編集した。

→受講申込は、こちらのQRコードからナカノシマ大学のWEBで受付します。

※次回は1月13日(水)18時予定……「愛される『大阪の音』を目指して 大フィル、80年の軌跡」
講師=福山 修(大阪フィルハーモニー交響楽団事務局長)

